

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		学力向上プラン「大学生が先生」					所管	教育委員会 指導課				
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	223	計画事業名	児童・生徒の学力向上					事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成 [小 柱] (3) 社会を生き抜く力を育てる教育の推進 [施 策] ①個性を生かす学校教育の充実					[事業開始]	平成 1 5 年度				
	根拠法令等	その他		〔法令等名〕	学力向上プラン「大学生が先生」事業実施要項、理科支援員配置事業実施要綱					[終了予定]	- 年度	
	事業対象	直接の対象 : 区立小中学校 最終的な対象 : 上記児童・生徒										
	事業目的	児童・生徒の学習意欲を高め、基礎的な学力の向上を通して楽しく学ぶ習慣を身につけさせる。										
	事業内容 [29年度]	教員を志望する大学生等のボランティア指導者を活用し、区立小・中学校の各教科の授業等で、教員の補助として学習指導を行う。また、理科教育に関心の高い者を理科支援員として小学校に派遣し、小学校理科教育に活用する。 (指導方法) 習熟度別学習・少人数授業・授業以外での補足的個別指導 理科における観察・実験などの支援、準備、後片付けなど										
	委託の有無	なし		委託内容		なし						
	補助金の有無	国・都		委託内容		なし						
事務事業の実績	種 別	指標の名称		単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度				
	活動指標	指導補助者採用者数		人	110	118	110	実績	101	110	達成率	91.8%
		理科支援員配置校数		校	10	10	13	11	10	110.0%		
	成果指標	指導補助者派遣日数		日	2,600	2,208	2,111	2,198	2,600	84.5%		
		理科支援員派遣回数		回	250	200	224	239	250	95.6%		
	決算額 (単位: 千円)					27年度		28年度		29年度		
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト (人件費など)				8,114		7,891		8,197		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				802		892		838		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				410		439		408		
		総経費				7,704		7,453		7,789		
財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				8,916		8,784		9,035			
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				0		0		0			
	一般財源 (区負担額)				696		742		772			
前回評価から29年度に改善した事項	学力下位の児童生徒に対して授業以外の学習時間を確保し家庭学習を補完するため、本事業を放課後学習にも積極的に活用するよう学校に要請した。											
評価の視点	評価		評価の理由									
	必要性	3	教員の業務は多岐に渡っており、学習指導の場で教員資格を持たなくても出来る業務に時間や手間を費やすこともある。教員が教員でなければ出来ないことに力を注ぐためにボランティアのマンパワーを活用する本事業は必要である。									
	効率性	3	教員を志す派遣者にとっては教育現場体験ができ、学校では教員のフォローの人材が配置されることにより、互いにメリットがありコストに対し満足度が高く効率的に運営ができています。									
	手段の適切性	3	時間単位ではなく日単位で派遣とすることで学校のニーズと学生等のニーズが折り合うよう柔軟な対応ができており、概ね適切に運営されています。									
	目的達成度	2	派遣対象校からの年度当初の実施計画に基づいた日数の派遣をしているが、全国学力調査の結果、全国平均に届いていない教科もある。									
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。							今後の方向性					
派遣対象校からの年度当初の実施計画に基づいた日数の派遣をしているが、全国学力調査の結果では、全国平均に届いていない教科もある。本事業のみで学力の課題解決を図ることは困難であるが、児童・生徒の学習意欲の向上につながるよう、指導者の活用方法について検討する必要がある。							改善		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			